

会 告

第 48 回通常総会および第 17 回年次学術講演会予告

昭和 37 年度の通常総会（第 48 回）および第 17 回年次学術講演会は、東京において開催することとなりましたので、講演を御希望の方は必ず 2 月 20 日までに御申込み下さい。詳細は次号（新年号）の会告に発表いたしますが、本年は講演方法、部門などに従来と若干ことなるところがありますので御注意願います。

	日	時	場 所
●通 常 総 会	37 年 5 月 26 日（土）	9.30～12.00	早稲田大学大隈小講堂の予定
●年次学術講演会	37 年 5 月 26 日（土）	13.00～17.30	早稲田大学各教室（6 教室）の予定
	27 日（日）	9.00～17.30	
●綜 合 講 演	37 年 5 月 26 日（土）	13.00～17.30	早稲田大学大隈小講堂の予定
	27 日（日）	10.00～16.00	
●懇 親 会	37 年 5 月 26 日（土）	18.00～19.30	早稲田大学大隈会館の予定

昭和 36 年度土木学会名簿発刊について

昭和 36 年度土木学会名簿が発刊されましたので、36 年度会費完納の方には全部お送りいたしました。万一会費を完納された方で名簿が未着の場合は至急学会まで御連絡下さい。調査の上お送りいたします。会費未納の方もこの際御払込み下されば順次名簿をお送りいたします。

なお 10 月号に発表いたしましたとおり学生員を除く全員には無償で贈呈いたしますが、郵送料その他として一部につき金 100 円の御負担をお願い申し上げます。切手封入その他ご便宜な方法で至急お送り下さい。

頒 価：学生員特価 200 円 会員外 300 円（〒 100 円）

体 裁：A 5 判 7 ボ横組 598 ページ

- 内 容：1. 学会要項：定款および規則、各支部規定、役員および職員、各委員会委員
2. 会員名簿：個人会員、特別員、賛助員
3. 主要要項：土木賞受賞者、前会長、名誉員、職場班
4. 土木関係主要機関：国会、官公庁、公共企業体、学校、研究機関、各種学協会
5. 業界案内：

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| (1) 電力会社 | (6) 土木機械・土木建築用品製作業 |
| (2) コンサルタンツ業 | (7) 諸工事業 |
| (3) 建設業（その 1）、（その 2）、（その 3） | (8) 試験機・計量機器製作業 |
| (4) コンクリート工業 | (9) 土木建築材料業 |
| (5) 橋梁・水門製作業 | (10) 測量・測量機器・出版業 |

第 4 回学生諸君のための映画会（関東地区）

建設技術フィルム・ライブラリーと共催による第 4 回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおりに開催しますからふるって御来会下さい（入場無料）。

記

1. 開催日時：昭和 37 年 1 月 27 日（土）14.00～16.00
2. 場 所：土木学会会議室（東京都新宿区四谷 1 丁目）、国電四谷駅・バス、都電四谷見付・地下鉄四谷駅下車
3. 上映映画：(1) 東海道新幹線 (2) 躍進する鉄道技術 (3) 北陸トンネル (4) 紀勢線全通

第 3 回原子力研究総合発表会

当学会が幹事学会となっております第 3 回原子力研究発表会は下記のとおりに開催されますから多数御来聴下さい。

記

1. 日 時：昭和 37 年 2 月 14 日（水）～17 日（土） 4 日間 9.00～17.30
2. 場 所：学士会館 2 階（東京都千代田区神田錦町 3 の 28）
3. 研究発表応募論文内訳：

1. 資 源・探 鉱	5	7. 炉 物 理	64	13. 廃棄物処理・再処理	17
2. 核 燃 料	78	8. 動 特 性	23	14. 障 害・管 理	18
3. 炉 材 料	19	9. 計 測・制 御	36	15. 安 全 性	15
4. 炉 化 学	20	10. 炉 工 学	27	そ の 他	5
5. 核 融 合	10	11. 原 子 動 力	9	(材料サイクル)	5
6. 核 物 理	13	12. 土 木・建 築	8	計	367 編

昭和 36 年度吉田賞および吉田研究奨励金候補の募集について

前号の会誌に標記の吉田賞委員会の規定、内規のみを掲載致しましたが、この委員会設置までの経過その他については既往の会誌に掲載致しませんでしたため、突然のことで良くご理解いただけなかったのではないかとお詫びするとともに、おくればせながらその概略をお知らせ致します。

ご承知のとおりコンクリート界の権威者であられた故吉田徳次郎博士（日本学士院会員・九州大学名誉教授・元東京大学教授・第 37 代土木学会会長）が昨年 9 月 1 日ご逝去になり、その後博士のご逝去をいたんで博士を記念する事業を企てようとの強い意見が各方面から出ましたので、300 名の発起人によって吉田徳次郎博士記念事業会が設置され、次のような事業計画を立ててこれを遂行するための資金を昨年 12 月から募集しておりました。

記念事業計画

1. コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究論文または工事にたいし「吉田賞」を設ける。

2. コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究を助成する「吉田研究奨励金」を設ける。

上記の賞および奨励金の対象は特定な関係者に限定せず広く土木技術界に求める。

各方面からの熱心なご賛同を得て募金は順調に進み、本年 10 月完了致しました。醸金者は個人 2025 名、団体 164 の多きを数え、その額は総計約 2070 万円にのぼりましたが、記念事業会は必要経費を差し引いた約 2000 万円を当土木学会に寄付し、この資金の管理および業務の運営を委託して解散致しました。それで当土木学会は早速これに対処するべく吉田賞委員会（委員長 平山復二郎氏、副委員長 沼田政矩氏、ほか委員 27 名）を設立し、この業務に当ることになった次第であります。

この事業は本年度（36 年度）から実施致しますので、とりあえず前号（11 月号）に掲示致しましたとおりの規定および内規を作成し、候補の募集を開始したわけでございます。

逝去された吉田博士を記念するためこの事業を計画され実行された発起人、特に熱心に尽力された有志の方々のご労苦にこたえるため、また、醸金された多くの方々のご芳志に対し、当会としてこの事業が大きく成長するように努力致したいと存じますので、会員各位におかれましてもなにとぞ協力下さるようお願い申し上げます。

順序が逆になりましたが、11 月号に掲載した「吉田賞および吉田研究奨励金候補の募集」の要項を念のため、次に記載致します。

吉田賞および吉田研究奨励金候補募集要項（詳細は 11 月号をご覧ください）

1. 募集の方法

吉田賞：会員その他一般の推薦者の推薦による。

吉田研究奨励金：会員その他一般の応募による。

2. 候補者

吉田賞：土木学会の刊行物、コンクリートおよび鉄筋コンクリートに関連する学協会の刊行物、その他これに類いの刊行物に研究論文、設計、施工、考案、などの報告、またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。ただし、候補者は日本に国籍を有するものに限る。

吉田研究奨励金：日本に国籍を有する個人または研究グループの中から選ばれる。

3. 賞および奨励金

吉田賞：コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究論文、工事等を対象とする。

吉田研究奨励金：コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に独創性と将来性に富むと認められるものを対象とする。

4. 候補論文または候補業績の範囲

吉田賞：土木学会誌および論文集、その他土木学会の刊行物をもとより、他の学協会、大学、官公庁、会社の刊行物に đăng載され、内容が整っており、昭和 35 年 9 月 1 日から昭和 36 年 12 月 31 日までの間に發表されたものに限る。ただし、土木学会誌および論文集に đăng載されてない報告またはそれらの要旨が、吉田賞に選ばれた場合は、受賞者はその要旨を土木学会誌に發表しなければならない。

吉田研究奨励金：吉田研究奨励金を授与されたものは、その研究成果の報告書を昭和 38 年 5 月 15 日までに本委員会に提出しなければならない。

5. 手続き

吉田賞：推薦者は土木学会より交付する推薦書 1 部を本委員会に提出する。

候補論文が土木学会誌および論文集以外に發表されている場合は、その本文および審査に必要な資料を 1 部添付提出する。

吉田研究奨励金：応募者は土木学会より交付する研究計画書 1 部を本委員会に提出する。

6. 締切期日 昭和 37 年 1 月 20 日

7. 提出先 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会吉田賞委員会

地震工学国内シンポジウム（1962年）開催について

1960年にわが国において開催した第2回世界地震工学会議が多岐の成果を収めたことは、すでに御承知のとおりであります。この会議を契機に地震工学への関心は一そう高まり、関係各方面の研究はさらに進展を続けていることを心強く感じております。

来る1964年には、第3回の会議が開催されますので、世界の研究者の期待に添う優れた多くの研究成果の発表されることを望んでおります。そのためにも、国内の地震工学専攻の私学者・技術者の知識の交流、研究情報の交換はもとより研究者間の親睦の増進の必要を認め、ここに関係4学会共催のもとに、はじめて「地震工学国内シンポジウム」を開催することに致しました。会員各位にこのことをお知らせすると同時に、下記による論文募集にふるってご応募下さるようご依頼致します。なお、プログラムその他の詳細は、おって発表致します。

主催：土木学会，日本建築学会，地震学会，土質工学会

I. 開催予告

1. 日 時：1962年11月15日（木），16日（金），17日（土）
2. 場 所：東 京
3. シンポジウムの内容：パネル討論および論文発表
4. パネル討論について：
 - a. 特定のテーマについて毎日午後3時頃より行なう。
 - b. 特定のテーマは後ほど決定するが、次の範囲のテーマを考えている。
Seismicity と耐震設計 Dynamic Design（上部構造および下部構造）

II. 発表論文の募集

1. 発表論文の内容
 - a. Seismicity に関するもの
 - b. 地震時における地盤の動的特性に関するもの
 - c. 耐震理論に関するもの
 - d. 耐震実験に関するもの
 - e. 耐震設計に関するもの
 - f. その他地震工学に関するもの

（注）発表論文は、最近の研究に属するものが望ましいが、既発表のものをふくんでさしつかえない。
2. 応募の方法
 - a. 論文提出希望者は1962年6月15日までに、所属学会、氏名、勤務先、職名、連絡先を明記の上、邦文約800字の内容梗概を共催学会へ提出する。
 - b. シンポジウム運営委員会は発表論文の採否を6月末日までに決定し、すみやかに応募者に通知する。
 - c. 採択された論文著者は1962年8月末日までに次の体裁に整えた原稿を共催学会に提出する。
3. 発表論文の体裁
 - a. 用語は日本語または英語とする。
 - b. 日本語の場合、著者は送付された所定の用紙4枚（図、表、写真をふくめて約5500字）以内に邦文タイプする。別にタイプ用紙1ページ（約600語）にタイプした英文の内容梗概をつける。
 - c. 英文の場合タイプ用紙6ページ（図、表、写真をふくめて約3600語）以内とする。
4. 発表論文の取扱い
 - a. 発表論文は前刷としてオフセット印刷し、1962年10月末日までに希望者には実費頒布できるようにする。
 - b. シンポジウム後、討論その他の補足をオフセット印刷し前刷の発表論文とあわせてプロシーディングスとする。
 - c. 著者には1論文につき別刷30部を贈呈する。

北海道支部行事案内

（札幌市北3条西6丁目 北海道土木部河川課内 電話（札幌5）-9111）

講 演 会

北海道土木技術会と共催

1. 日 時：昭和37年1月19日（金）午前9時より午後4時まで
2. 場 所：札幌市北8西8 北海道大学クラーク会館
3. 講演題目：

<ol style="list-style-type: none"> (1) 9.20~10.50 PC鋼材について (2) 10.55~11.55 フレシナー方式による新工法および施工例について (3) 12.30~13.30 BBRV 大型緊張材について (4) 13.35~14.35 ディビターク方式導入後における技術的進展について (5) 14.40~15.40 パウル、レオンハルト工法の扇状定着法について 	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">住友電気工業KK</td> <td style="width: 33%;">武尾敬之助</td> </tr> <tr> <td>極東鋼弦コンクリートKK</td> <td>宮崎義成</td> </tr> <tr> <td>オリエンタルコンクリートKK</td> <td>上野博</td> </tr> <tr> <td>北海道ビー・エス・コンクリートKK</td> <td>猪又稔</td> </tr> <tr> <td>別子建設KK</td> <td>中島儀八</td> </tr> <tr> <td>大成建設KK</td> <td>只野直典</td> </tr> </table>	住友電気工業KK	武尾敬之助	極東鋼弦コンクリートKK	宮崎義成	オリエンタルコンクリートKK	上野博	北海道ビー・エス・コンクリートKK	猪又稔	別子建設KK	中島儀八	大成建設KK	只野直典
住友電気工業KK	武尾敬之助												
極東鋼弦コンクリートKK	宮崎義成												
オリエンタルコンクリートKK	上野博												
北海道ビー・エス・コンクリートKK	猪又稔												
別子建設KK	中島儀八												
大成建設KK	只野直典												
4. 入 場 無 料

関西支部行事案内

(大阪市東区京橋3丁目70大阪建設会館内 電大阪(94)3651~3, 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 第4回見学会(大阪市内土木工事見学会)

- 1) 期 日: 昭和 37 年 2 月 6 日 (火)
- 2) 見 学 先: 十三バイパス, 京阪電鉄淀屋橋乗入れ工事(天神橋付近), 高速鉄道四号線, 第二阪神国道安治川付近, 梅田地下街工事
- 3) 集 合: 2月6日 12時50分までに国鉄大阪駅西口
- 4) 行 程: (借切観光バス利用) 13.00 大阪駅発→13.35 十三バイパス着(見学 20分) 13.55 発→14.30 京阪電鉄天神橋着(見学 30分) 15.00 発→15.30 高速鉄道弁天町着(見学 30分) ・第二阪神安治川(見学 20分) 16.20 発→16.50 梅田地下街着(見学 30分) 17.20 解散
- 5) 参 加 費: 100 円
- 6) 定 員: 100 名
- 7) 申 込 期 限: 昭和 37 年 1 月 24 日 (水)
- 8) 申 込 要 領: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記の上参加費 100 円(送金は振替口座利用)を添えて 1 月 24 日までに土木学会関西支部へお申込み下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申込んで下さい。参加者には参加章をお送りしますから, 当日は必ず御持参下さい。

(2) 爆破に関する技術研究会

- 1) 日 時: 昭和 37 年 2 月 13 日 (火) 13 時~17 時
- 2) 場 所: 大阪府職員会館 2 階大講堂 電大阪(94)0351 (大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西裏)
- 3) 題目と講師:

13.00~15.00	① 爆破用火薬類について	京都大学工学部 助教授 工博 若 園 吉 一
15.00~15.30	質 疑 応 答	
15.30~16.30	② 爆破の実施について	鹿島建設土木工事計画課長 工博 佐 藤 忠 五 郎
16.30~17.00	質 疑 応 答	
- 4) 定 員: 400 名
- 5) 参 加 費: 無料(参加者には参加章をお送りします)
- 6) 申 込 期 限: 昭和 37 年 1 月 31 日 (水)
- 7) 申 込 要 領: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名をハガキに明記して 1 月 31 日までに土木学会関西支部へ申込んで下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申込んで下さい。参加者には参加章をお送りしますから当日は必ず御持参下さい。

- (3) 海外事情講演会 (37 年 1 月 18 日)
 - (4) 会員懇親会 (37 年 1 月 18 日)
 - (5) 技術講座 3 号 (37 年 1 月 22, 23 の両日)
 - (6) 道路のための土質工学講習会 (37 年 1 月 16, 17 の両日)
- } 詳細は学会誌 11 月号を御覧下さい。

関西支部昭和 36 年度講習会テキスト頒布について

セメント コンクリート 体裁: B5判 135 頁 頒価 300 円(〒 80 円)

上記図書御希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(大阪市東区京3橋丁目70大阪建設会館内 振替口座 大阪 82599 番)へお申込み下さい。

水理工学講習会(東北支部開催)講演集頒布について

11 月 7, 8 日の両日東北支部で開催の水理工学講習会(技術者のための最近の水工学)の講演集を頒布致しておりますので, ご希望の方は代金に送料を添えてお申込み下さい。

体 裁: B5判 126 ページ 上質紙使用

頒 価: 490 円(送料 50 円)

申 込 先: 土木学会 本 部 東京都新宿区四谷一丁目(振替 東京 16828)

土木学会東北支部 仙台市北三番丁 東北地方建設局内(振替 仙台 2098)

注: 内容については東北支部だより本誌 86 ページをご覧下さい。

中部支部刊行物在庫品のお知らせ

テ キ ス ト 名	在 庫 数	頒 価 (送 料 共)	摘 要
第 16 回 年 次 学 術 講 演 会 講 演 概 要			
第 I 部 土質および基礎工学	41	150	36 年 5 月 発 行
第 II 部 橋梁および構造学	37	200	"
第 III 部 水理学, 水文学, 港湾, 海岸工学	1	200	"
OR と 基 礎 工	66	100	36 年 8 月 発 行 (タイ 印 刷) 講 演 会 用

1. 申 込 先: 土木学会中部支部(名古屋市昭和区狭間町 30 建設省中部地方建設局企画室内 TEL (73) 8151)

2. 申 込 要 領: 書名を記入して代金に送料を添えて前金でお申込み下さい。